



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 SMC株式会社

コード番号 6273

URL <https://www.smcworld.com/ir.htm>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 高田 芳樹

問合せ先責任者(役職名) 取締役執行役員経理部長

(氏名) 太田 昌宏 (TEL) 03-5207-8271

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日

配当支払開始予定日 2023年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	393,551	△6.6	105,124	△21.3	134,660	△25.5	94,735	△28.8
2023年3月期第2四半期	421,529	17.5	133,649	13.2	180,725	43.3	133,054	47.4

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 170,507百万円(△15.9%) 2023年3月期第2四半期 202,662百万円(104.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第2四半期	円 銭 1,468.79	円 銭 —
2023年3月期第2四半期	2,036.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第2四半期	百万円 2,073,699	百万円 1,843,158	% 88.7
2023年3月期	1,927,940	1,702,325	88.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 1,839,169百万円 2023年3月期 1,698,413百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 450.00	円 銭 —	円 銭 450.00	円 銭 900.00
2024年3月期	—	450.00			
2024年3月期(予想)			—	450.00	900.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	807,000	△2.2	233,000	△9.8	253,000	△17.3	183,000	△18.5	2,837.18

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料P.7をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	67,369,359株	2023年3月期	67,369,359株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	2,877,377株	2023年3月期	2,868,732株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	64,498,400株	2023年3月期2Q	65,340,286株

(注) 取締役に対する株式報酬のための「役員向け株式給付信託」が保有する当社株式(2023年3月期2Q及び2023年3月期:2,600株、2024年3月期2Q:11,200株)は、②期末自己株式数及び③期中平均株式数(四半期累計)の計算において控除する自己株式数に含めています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後の様々な要因により、予想と大きく異なる可能性があります。